

高速回転ミラーストリークカメラ モデル 131

- *高空間分解能: 3,250 ピクセル
- *時間分解能: 1.4ns
- *高ダイナミックレンジ: 14ビット ADC
- *ソフトウェア制御: ソフトウェアを通して簡単に露光時間やタイミング時間の制御
- *レーザーとパルスフラッシュ照明
- *プログラム可能な時間遅れ機能の内蔵
- *外部電子基準入力のキャプチャー
- *電子シャッターによる上書き防止

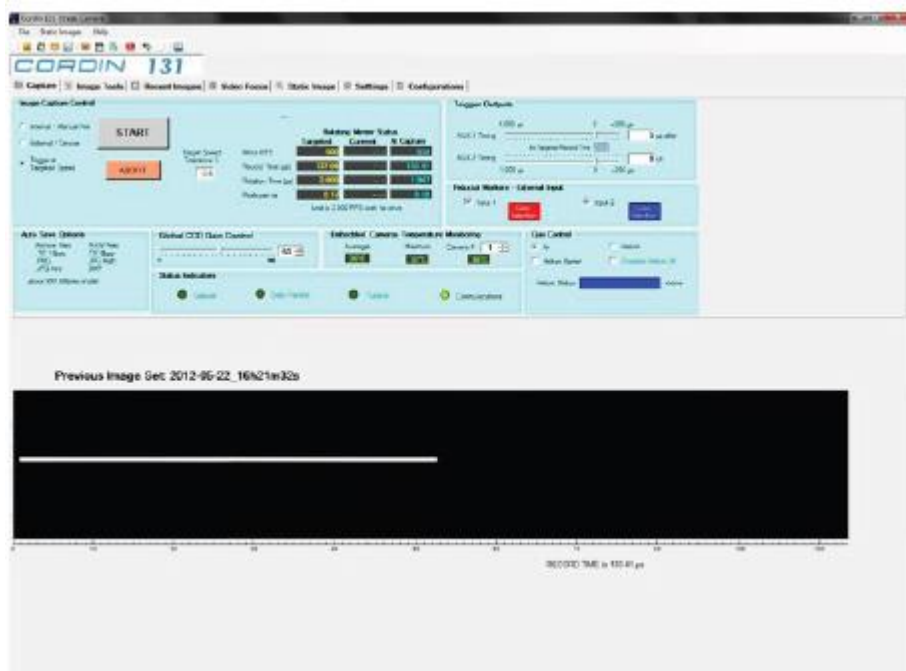


モデル 131 の特徴

高速回転ミラーCCDストリークカメラモデル 131 は計測するイベントを 1 次元連続計測に最適な分析ツールです。モデル 131 は通常のストリークカメラシステムと比べ、回転ミラーの構成により、より高分解能を持っています。回転ミラーと CCD 技術の融合により、秒間隔の連続デジタルストリーク画像情報に接することができます。研究者はこの情報で課題の調整、分析、プレゼンに使用することができます。Cordin のユニークな光学-機械設計により、ギャップや傷なしで連続デジタルストリークの記録が無視可能な歪で得られるようになりました。画像情報は光-電子変換なしで、非常な高速でキャプチャーできますので、ダイナミックレンジが高く、しかも低ノイズになります。モデル 131 ストリーク画像は空間軸で 3,250 ピクセル、時間軸で 14,000 ピクセルです。オプションの拡張記録構成では時間軸で 43,000 ピクセルまで可能です。7.4 μ ピッチで大きなピクセルを持っているので、より良いダイナミックレンジを実現しています。回転ミラーのエンジンは 2 種類あります。標準 1209 タービンは 5,000rps、オプションの 1231 タービンは 7,500rps で動作します。圧縮空気もしくは窒素で 50%、ヘリウムで 100% の速度に達します。書き込み速度はソフトウェアで制御される回転ミラーの速度によって決まります。1209 標準タービンを使用すると 1,700 ピクセル/ μ s、1231 タービンでは 2,500 ピクセル/ μ s となります。二つの基準入力により正確な同期やプログラム可能な遅延出力が得られます。パソコンにより簡単な設定、データ取得、調整、分析、保存などが可能です。

オプション:

- *43,000 ピクセルまで拡張
- *カスタム対物レンズ
- *カスタムスリット
- *高速タービン(1231)
- *光学基準マーク発信機



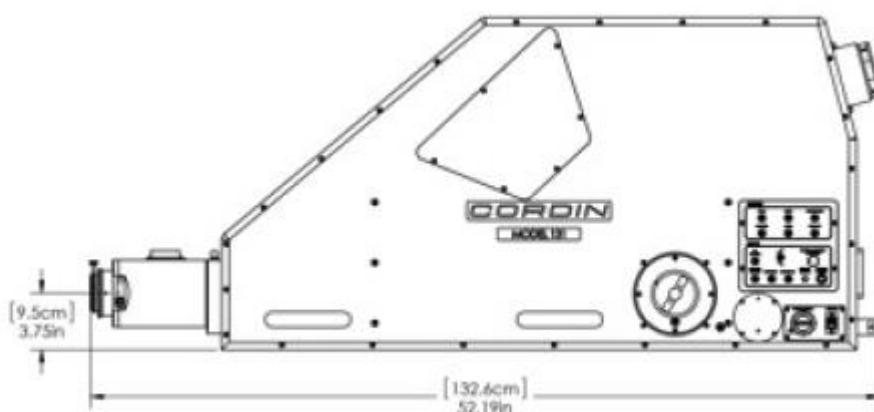
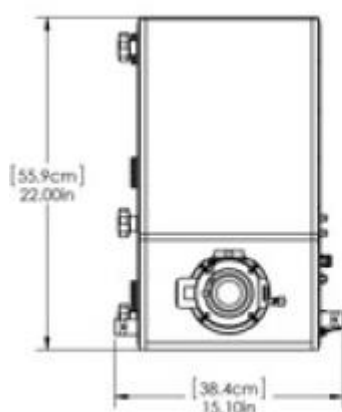
技術仕様

記録幅: 3250 ピクセル
 記録長: 14,300 ピクセル
 拡張記録長: 28,600 か 43,000 ピクセル (オプション)
 最小時間機能: 3.4 ピクセル (25 μ スリット)
 ADC ダイナミックレンジ: 14ビット
 対物レンズ: Nikon フォーマット
 ピクセルサイズ: 7.4x7.4 μ
 デバイス: 29M ピクセル 全分解能、白黒画像、
 プログレッシブスキャン

データインターフェース: ギガバイト イーサネット
 基準入力: +5V、-5V アナログと閾値を持つ光パルス
 遅延出力: 2つのプログラム可能なチャンネル

駆動タービン

モデル	1209	1231
最大フミラー回転数:	5000	7500
時間分解能:	2.0 μ s	1.4 μ s
最大書き込み比:	1700 ピクセル/ μ s	2500 ピクセル/ μ s



お問い合わせ先 **株式会社クレアクト・インターナショナル**

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-13 五反田増島ビル 4 階

電話: 03-3444-5601 ファックス: 03-3442-5402

e-mail: info@creact.co.jp

<http://www.creact.co.jp>